アスパラガス栽培管理(R8.11.)

(有) 丸　富

10 月は記録的に多い台風の発生や異常高温などがある中で、ダニやスリップス、ヨトウムシなど害虫の発生が多かった。遠日点の影響もあって、時々低温になっても黄化が進み難い状態だった。

黄化促進

遠日点で栄養生長傾向なので黄化しにくいため、窒素消化を促し、黄化を図る。
黄化促進に**時を越えた贈り物 1,000 倍**と**サンミネーラ 3,000 倍**を葉面散布、又は防除時に混用する。

貯蔵養分蓄積

光合成で出来た養分を、来年の春芽のために、葉から根に転流し、蓄積する。
養分蓄積に**時を越えた贈り物 2,000 倍**と**サンミネーラ 10,000 倍**を散布する。

病害対策

罹病株や欠株の残渣は、できる限り冬場に取り除き、病害の拡大を抑える。
罹病株や欠株を取り除いた後、**ハイプロを土に 10%混ぜて**土を埋め戻す。**時を越えた贈り物 1,000 倍**と**サンミネーラ 10,000 倍**を土で埋め戻した所に散水する。

害虫対策

遠日点では害虫の発生がやや少ない。満月頃は害虫の発生に注意する。
害虫対策はガスバーナーで焼却するので問題ないが、害虫が多くて気になる場合は収穫がない時期に**バイオアクト TS 200～300 cc／10a(又は、ストッパー雅 500～1,000 cc／10a)**を潅水する。
防除時は上記を潅水し、害虫を追い出す。その後、防除時に**バイオアクト TS 1,000～2,000 倍**を混用。

土づくり

収穫により土壌から逸脱した養分を定期的に土壌に戻し、養分バランスを整えるのが土づくり。
自然の状態に近づけるよう**野生植物マグマ農業用 3～5 kg／10a** を施用すると、土壌中の微生物や菌の働きが活発になり、土の浄化と活性化を図る。

追肥(液肥)

土壌環境、並びに株の年数、根の働きによっても増減する。

プロ液肥	**0.5～1 ℓ／10a**	**5～10 日ごとに潅水する場合**
酸カル	**50～100 cc／10a**	※収穫量や土壌条件、天候によって加減する。
サンミネーラ	**50 cc／10a**	
バイオアクト TS(又は**ストッパー雅**)	**50cc**(100cc)／**10a**	

※サンミネーラの代わりにシーマロックス 500～1000 cc、シリカアップ 200 cc、夢源の雫 20～30 cc でもよい。

ご注文やお問い合わせは、　**有限会社 丸 富**　0942 - 65 - 0123（TEL）
FAX **0942-65-1091**（**24 時間受付**）　携帯 090-3328-7603（富松まで）